

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立山手小学校敷地内です。

工事期間中は、校舎、屋内運動場・グラウンド等は使用しています。

2. 別途工事

なし

3. 留意事項

- ①工事期間中は学校を使用しているため、事故のないよう十分注意し、職員・児童及び第三者に対する安全確保に努めてください。
- ②現場着手日及び工事関係車両の駐車場は、施設管理者と協議し決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- ③9月から2学期を開始するので、8月31日までに北側玄関出入口及び渡り廊下部分の工事を完了させてください。また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないようにしてください。
- ④夏休み中、個人懇談会や登校日等の学校行事の際における作業内容は、施設管理者との協議が必要です。
- ⑤工事中も室内換気や空調機が使用できる対策を講じてください。
学校等の状況により、改修工事の区分けでの施工や改修内容の変更が生じる場合があります。
- ⑥外壁劣化調査後速やかに外壁劣化調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て改修工事を行ってください。
- ⑦契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑧既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
なお、損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑨はつり工事に際しては、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- ⑩特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑪工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑫本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ⑬工事の施工に支障となる物品・倉庫等については、仮移動等学校と協議を行い実施してください。

4. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。

- 「第20回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- 大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡してください。
- ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せてください。

福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	仮設工事特記仕様書・附近見取図・配置図
7	1階平面図
8	2階・3階平面図
9	4階・R階平面図
10	立面図
11	断面図

福山市建設局建築部営繕課					年 月
主 務	課 長	次 長	課 長 補 佐	営 繕 課 長	建 築 部 長

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項								
⑦ 石綿含有建材の除去及び処理	① 事前調査 <6.1.4.1>	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) 分析必要箇所 (箇所)	5 石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	⑧ 養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理を行う。 ⑨ 後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。															
	2 石綿粉じん濃度測定 <6.1.3>	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 最新版による。 測定点の取り方 (1) 処理作業前 ・ 処理作業室内 (点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) (2) 処理作業中 ・ 処理作業室内 (点) ※ セキュリティーゾーン入口 (点) …… 空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口 (点) …… 除じん装置の性能確認 ○ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) (3) 処理作業後 (離隔シート撤去前) ※ 処理作業室内 (点) ○ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点)		1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・				
	石綿含有保温材等の仕様	使用部位																	
	・	・																	
・	・																		
・	・																		
・	・																		
③ 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門事業者 石綿含有吹付け材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ① 石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 ② 排出事業者は、石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去工事で、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者 (以下「除去作業者」という。) は、石綿障害予防規則 (平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。) に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承認を受けること。 5) 表示及び掲示 ① 関係者以外立ち入り禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ② 石綿の有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ (労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ① 作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ② 監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ① 労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届 (労働基準監督署) ② 「石綿則」第5条第1項の規定による作業届 (労働基準監督署) ③ 大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出 (都道府県知事) ④ その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出 (特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※ 「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・問解説」	① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ② 確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③ 養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④ 養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤ 壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、黒じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥ 養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後解体撤出する。 ⑦ 床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。	① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ② 養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。																
4 石綿含有吹付け材の除去 <6.3.1~6.3.4>	1) 処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による	① 除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて負圧隔離養生を行う。 ② 隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保持。 ③ 隔離した作業場内への出入りによる石綿粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティーゾーンを設置する。 ④ 洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。 ⑤ 除去物の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化	⑥ 石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 塩ビ製シート防水 (みなし含有)</td> <td>・ 雨樋枚数</td> </tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・ 塩ビ製シート防水 (みなし含有)	・ 雨樋枚数	・	・	・	・	・	・				
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																		
・ 塩ビ製シート防水 (みなし含有)	・ 雨樋枚数																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
			7 石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・				
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		



福山市建設局建築部営繕課
2024年4月

工事名称
福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事
図面名称
外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
縮尺
Non Scale

名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理			
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm			
改修前	改修後																
改修後	改修前																
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）			
設計数量		㎡		設計数量： 78. 7㎡		設計数量： ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量： m		設計数量： m		設計数量： ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量： m			
名称		B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		C-1 打放し面錆鉄筋部処理		C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり							
改修前	改修後																
改修後	改修前																
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①錆鉄筋周囲のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①カッター縁切り（C-3） ②錆部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）		①カッター縁切り（C-3） ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）							
設計数量		89. 9 m		設計数量： m		設計数量： 115 m		設計数量： m		設計数量： 4. 1㎡							
名称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]						D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]									
改修前	改修後																
改修後	改修前																
工程		①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑦高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド（250×250）（指定部以外の部分） ②指定部標準グリッド（200×200）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③破幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ※アンカーピン固定部		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑥注入孔穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※D-3'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		①一般部標準グリッド（200×200）（指定部以外の部分） ②指定部標準グリッド（110×110）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③破幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ※アンカーピン固定部		①一般部標準グリッド（330×330）（指定部以外の部分） ②指定部標準グリッド（250×250）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③破幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ※注入孔付アンカーピン固定部					
設計数量		①一般部分： 81. 8㎡ ②指定部分： 63. 1㎡ ③破幅部： 126 m		①一般部分： 81. 8㎡ ②指定部分： 63. 1㎡ ③破幅部： 126 m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m			
名称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]						D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]									
改修前	改修後																
改修後	改修前																
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入孔穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド（200×200）（指定部以外の部分） ②指定部標準グリッド（110×110）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③破幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ※アンカーピン固定部		①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦高圧水洗浄（150~200kg/cm ² ） 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド（250×250）（指定部以外の部分） ②指定部標準グリッド（250×250）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③破幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ※注入孔付アンカーピン固定部		①一般部標準グリッド（330×330）（指定部以外の部分） ②指定部標準グリッド（250×250）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③破幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ※注入孔付アンカーピン固定部					
設計数量		①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m		設計数量： ①一般部分： ㎡ ②指定部分： ㎡ ③破幅部： m			



福山市建設局建築部営繕課

福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事

2024年4月

外壁改修工事特記仕様書 No.2

縮尺 Non Scale

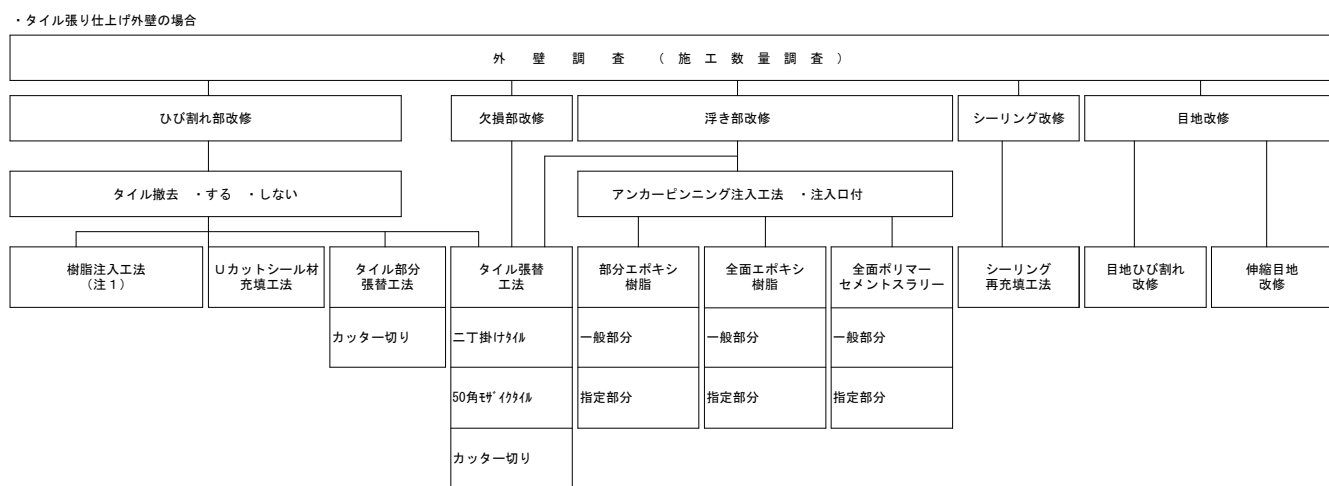
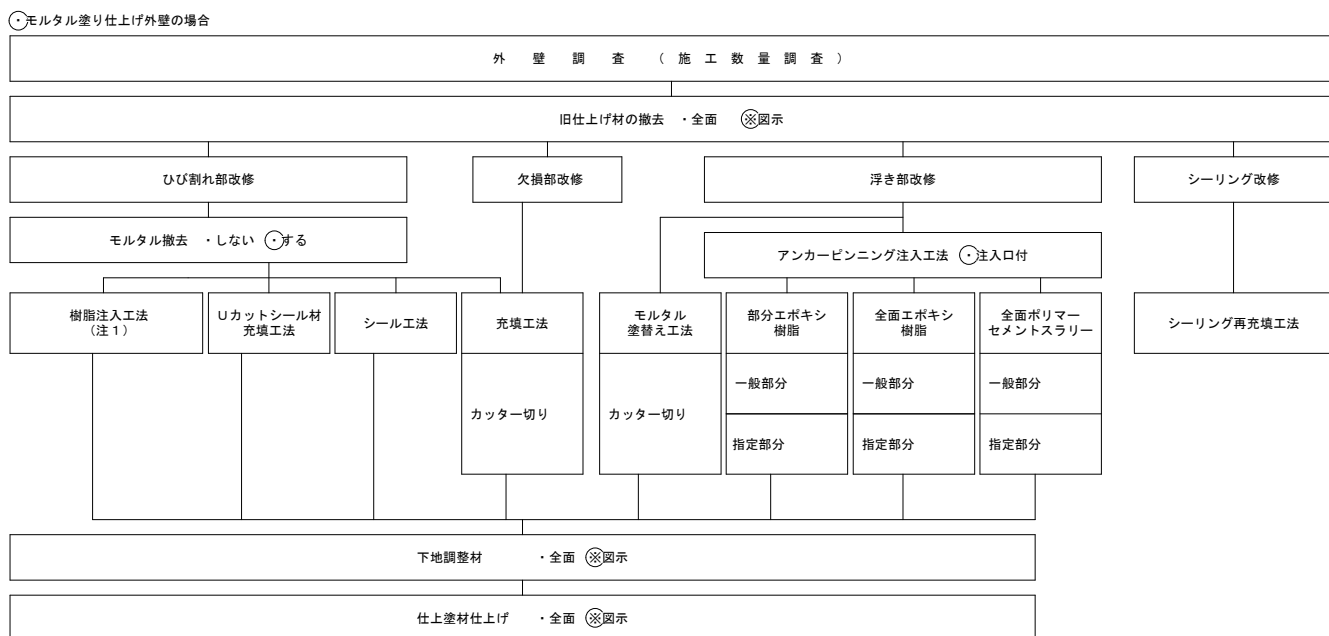
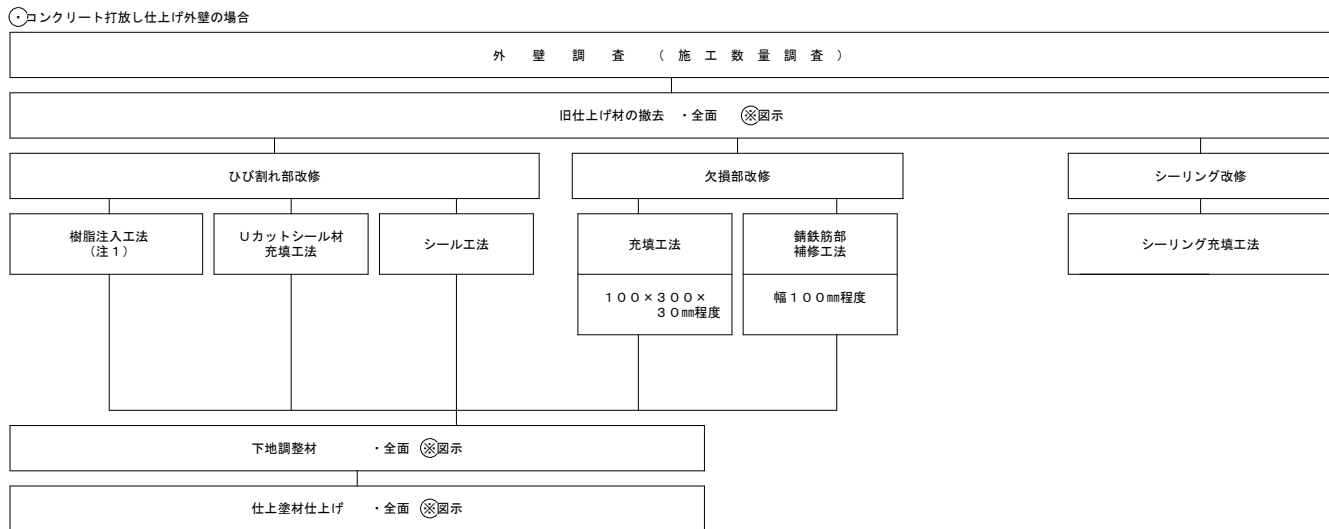
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]	
改修前		
改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ③破損部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅狭い箇所) ②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	D-8 タイル面注入付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]
改修前		
改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは同色樹脂パテ] ※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m

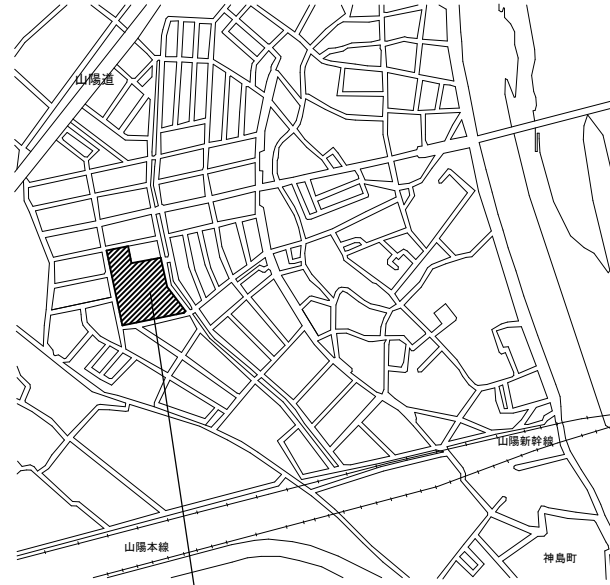
名称	E 欠損部処理		
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]
改修前			
改修後			
工程	①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 設計数量：㎡	①欠損部・錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 設計数量：㎡	①カッター縦切り (C-3) ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 設計数量：5.6㎡

名称	F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法	
改修前		
改修後		
工程	下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーベスト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーベスト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打設 (MS-2) ※改修範囲は断面詳細図による 設計数量：ネット張り 164㎡、水切 150m	

外壁改修フロー図

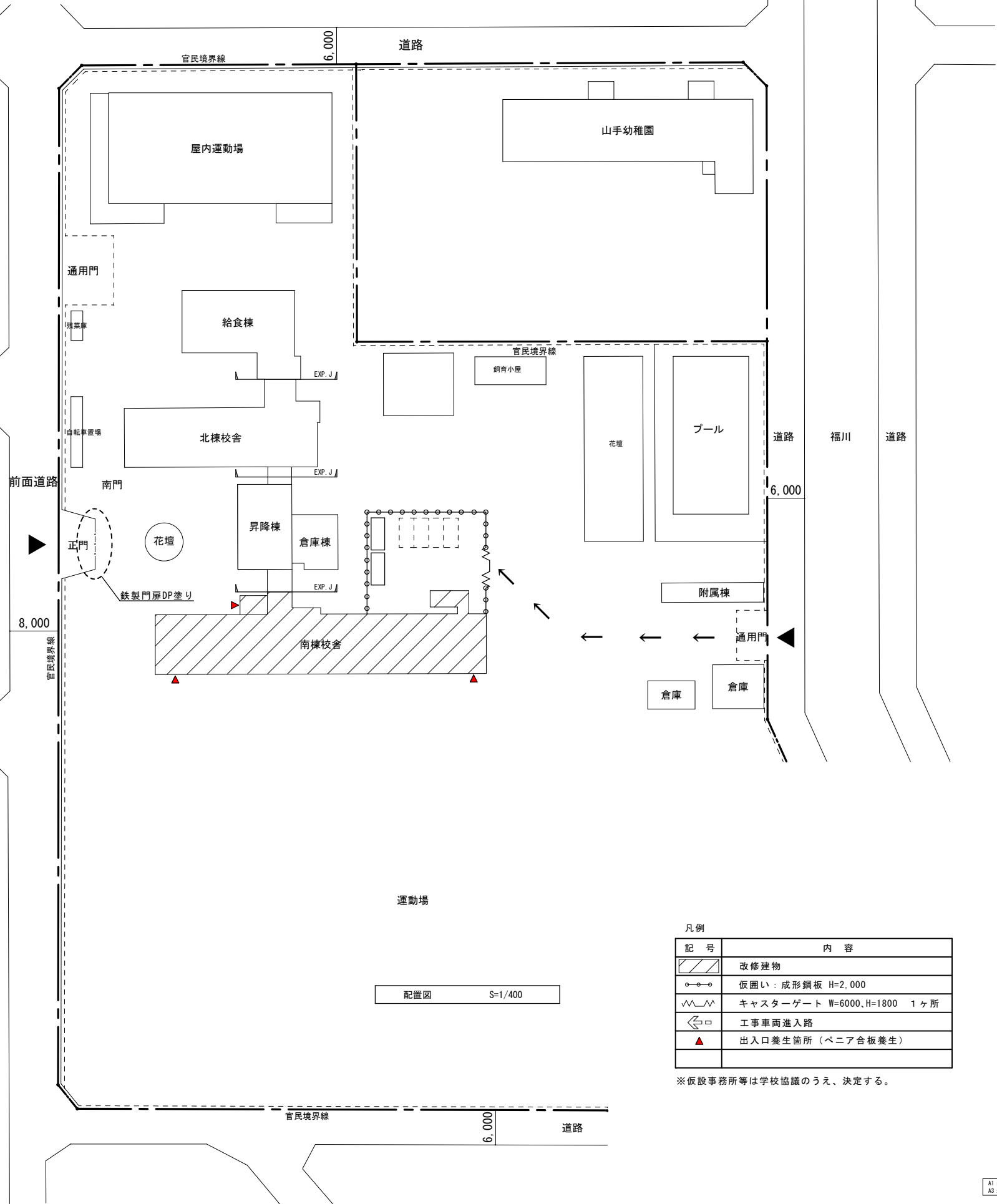
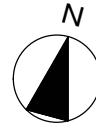


(注1) 樹脂注入工法の工法の種類を示す



計画場所：福山市立山手小学校
福山市山手町一丁目6番1号

附近見取り図



仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は東出入口とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
(既設建物を傷めた場合には復旧する。)
- ⑤ 児童の移動が集中する時間帯(登下校時等)は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場(先行足場、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 南面の仮設足場については、ばら花壇か所は養生を行うこと。
- ⑫ 児童及び第三者が、工事エリアに入れないように、1段目には金網を設置し、施設付きの出入り口を設けること。
- ⑬ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑭ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑮ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。

凡例

記号	内容
	改修建物
	仮囲い：成形鋼板 H=2,000
	キャスターゲート W=6000, H=1800 1ヶ所
	工事車両進入路
	出入口養生箇所(ベニア合板養生)

※仮設事務所等は学校協議のうえ、決定する。

A1: 100%
A3: 50%



福山市建設局建築部管轄課

2024年4月

工事名称
福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事

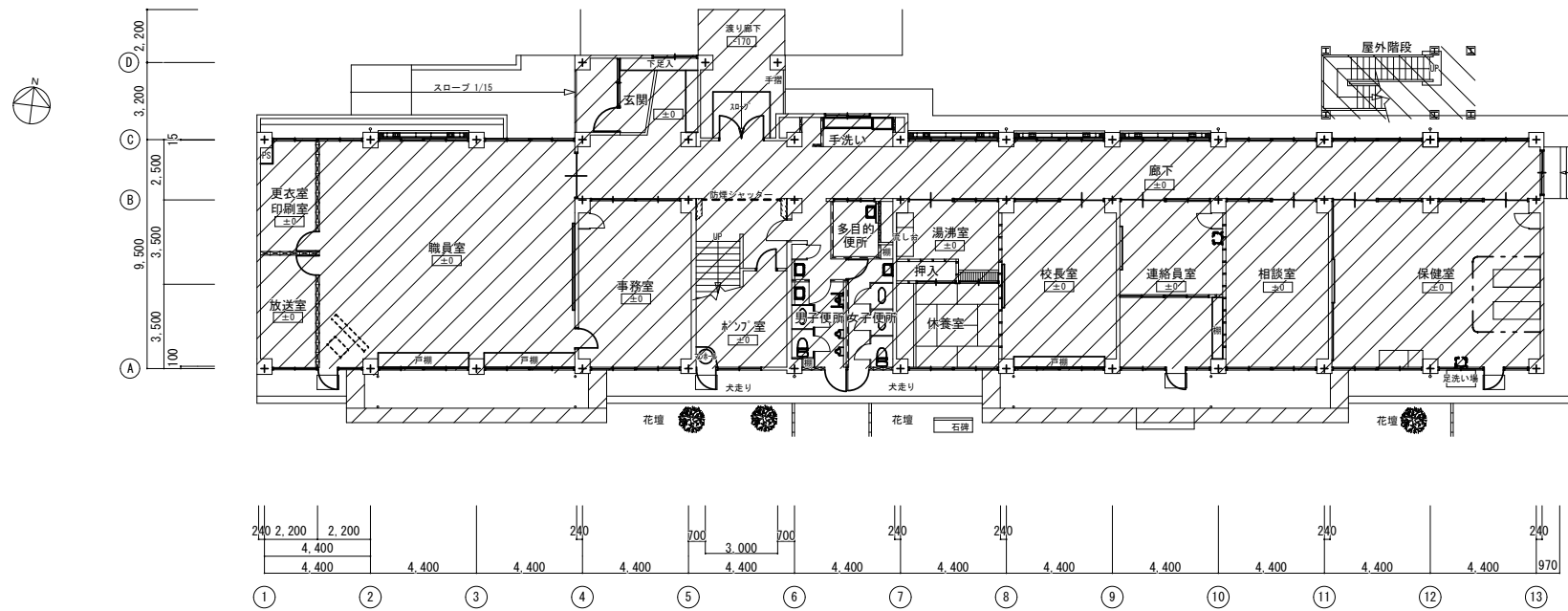
図面名称
仮設工事特記仕様書・附近見取り図・配置図

縮尺
S=1/400

図面No

6

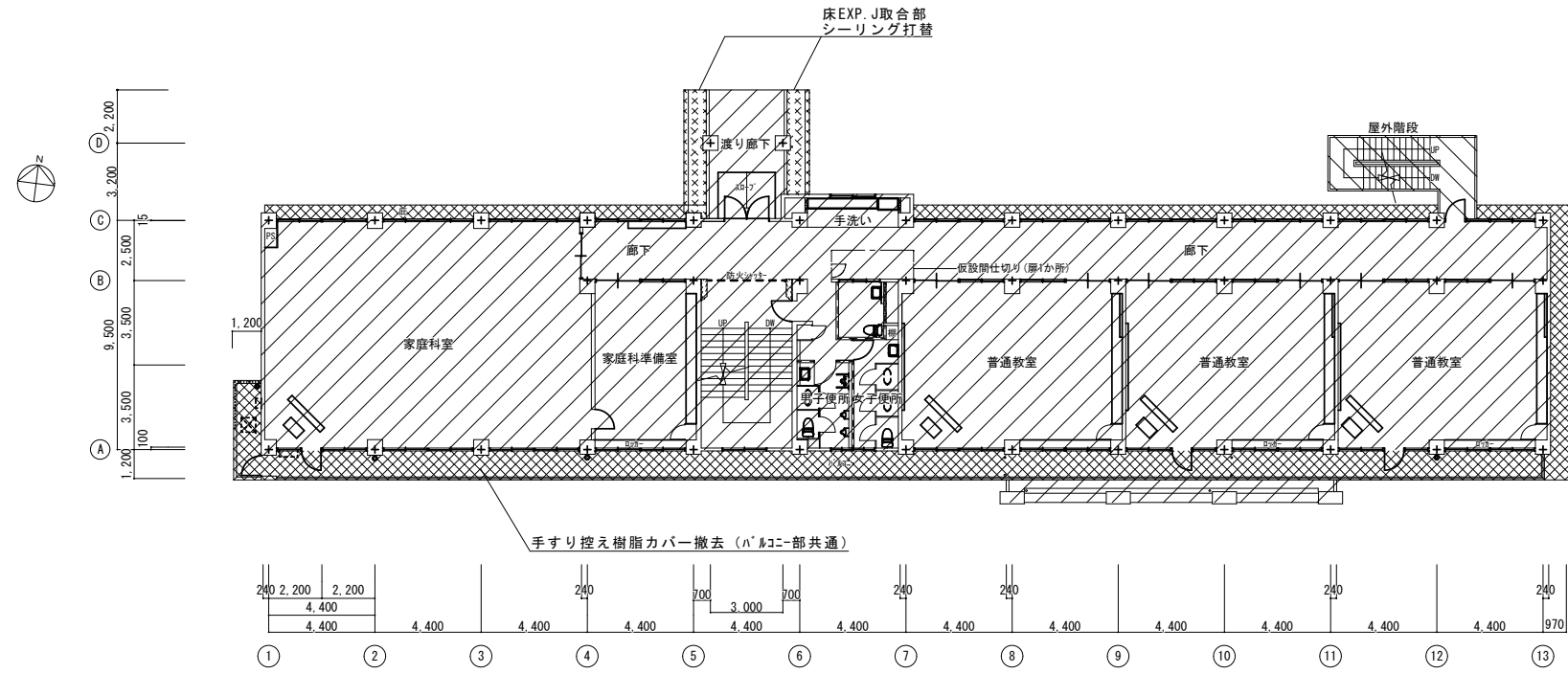
11



1階平面図 1/150

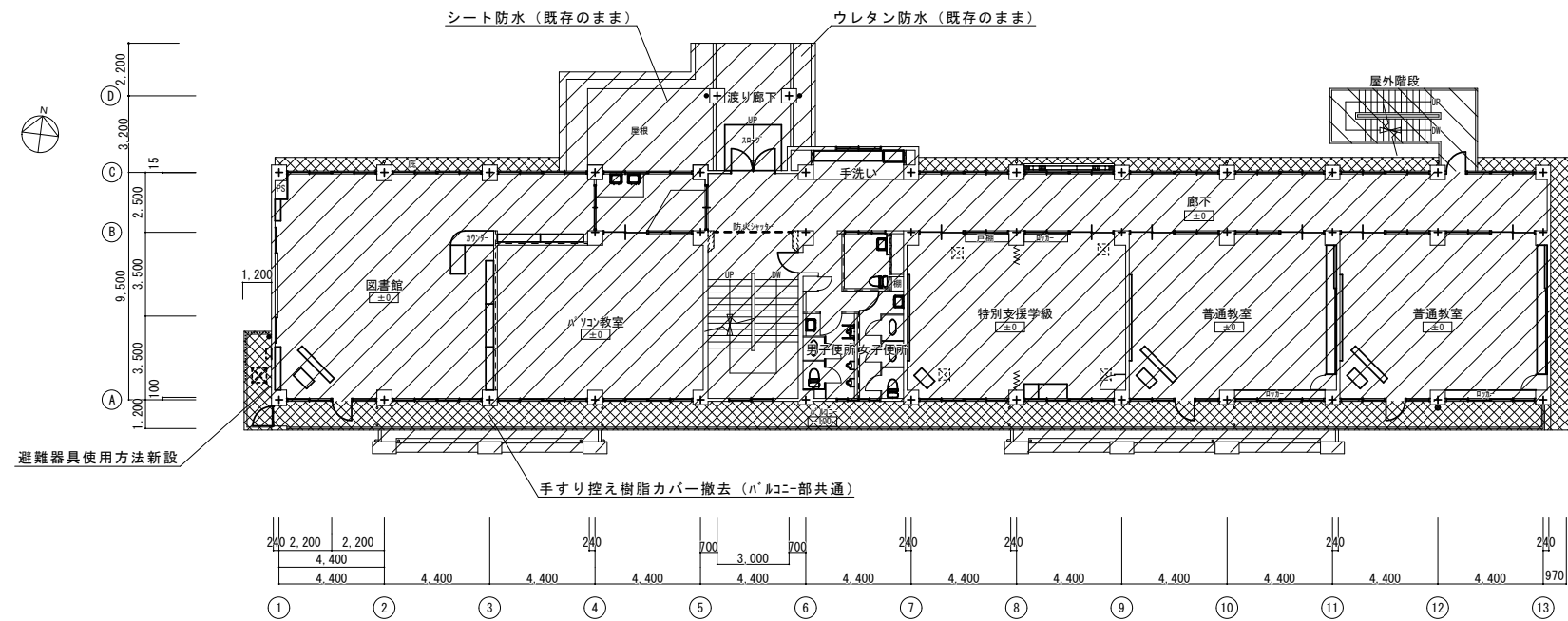
凡例 (改修内容)		
	既存	アクリル系リシン吹付
	改修	外壁劣化改修の上、複層塗材Eローラー塗リ(軒裏等は、外装薄塗材E吹付け) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング (MS-2) 打替
	既存	階段・鉄骨
	改修	下地調整RB種の上、DP3級*リリカ2回塗リ
(軒種)	既存	カラーVP75φ
	改修	既存のまま

A1 100%
A3 50%



3階平面図 1/150

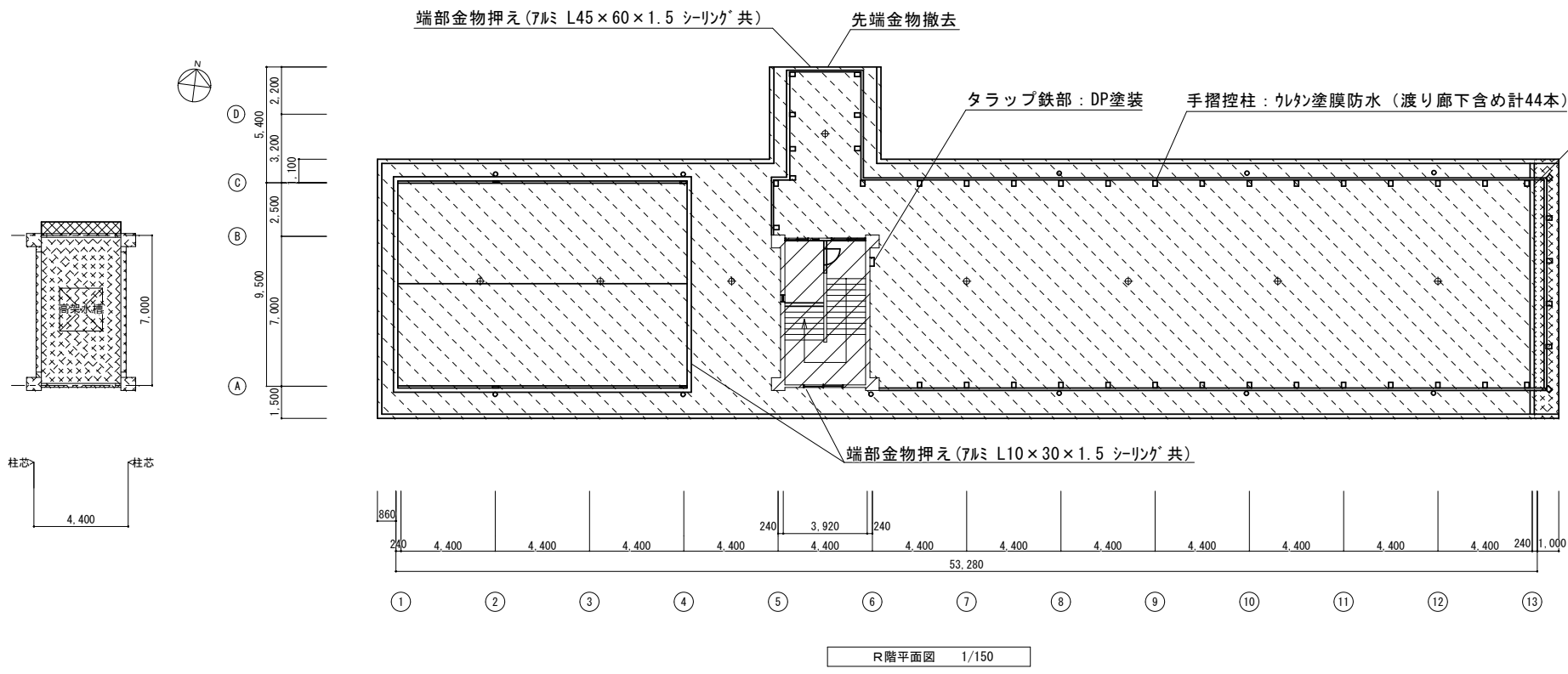
凡例 (改修内容)		
外壁 軒裏	既存	アクリル系リシン吹付
	改修	外壁劣化改修の上、複層塗材Eローラー塗り(軒裏等は、外装薄塗材E吹付け) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング (MS-2) 打替
小庇 バルコニ	既存	防水モルタル現し
	改修	高圧洗浄、クラック処理、下地調整 (目地埋め含む) の上、 ウレタン系塗膜防水 (X-2工法)
小庇 バルコニ	既存	ウレタン塗膜防水
	改修	高圧洗浄、下地処理の上、ウレタン系塗膜防水 (X-2工法) バルコニー部は防滑仕様
屋外階段	既存	階段: 鉄骨
	改修	下地調整RB種の上、DP3級*リレカ2回塗り
(好種) 種	既存	カラーVP75φ/ドレン鉄部
	改修	既存のまま/下地調整RB種の上、DP3級*リレカ2回塗り



2階平面図 1/150

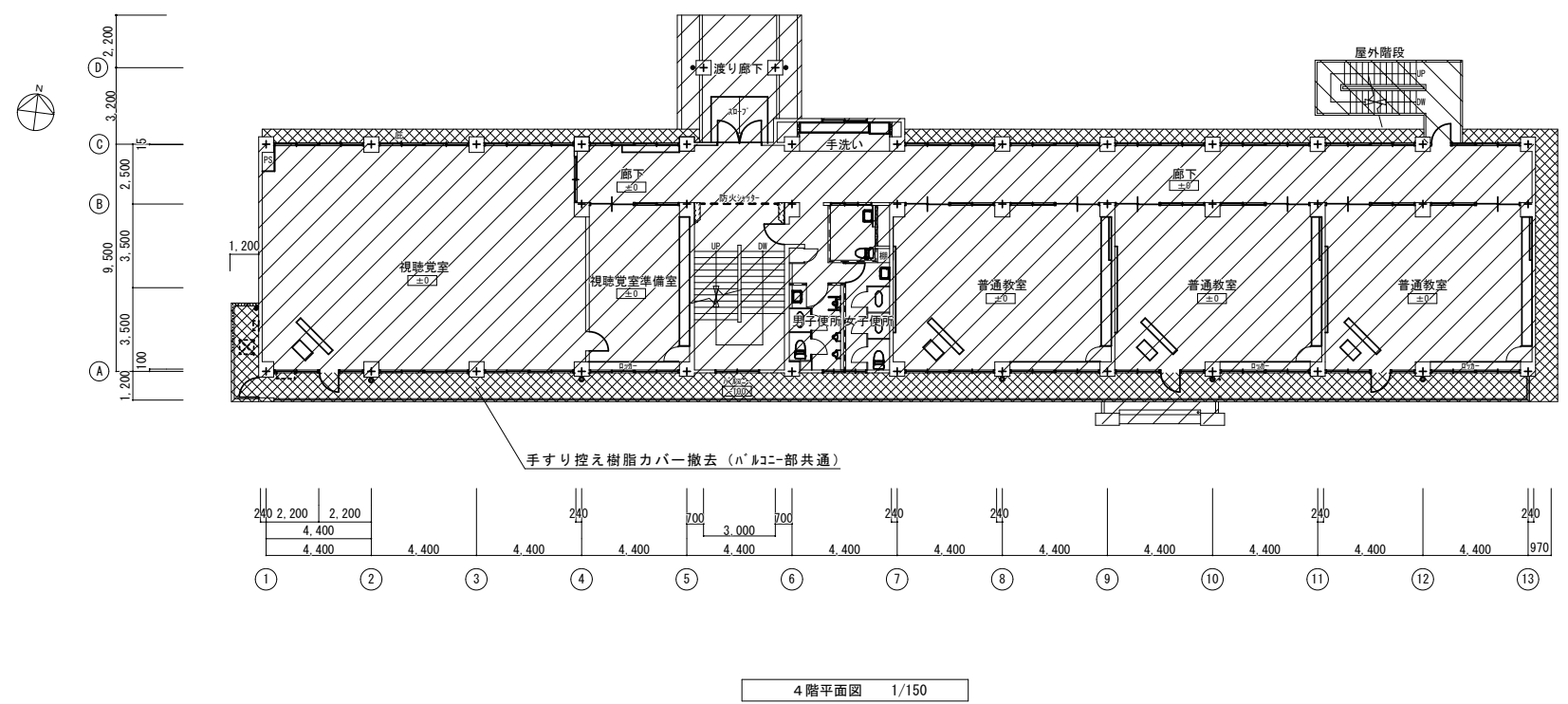
凡例 (改修内容)		
外壁 軒裏	既存	アクリル系リシン吹付
	改修	外壁劣化改修の上、複層塗材Eローラー塗り(軒裏等は、外装薄塗材E吹付け) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング (MS-2) 打替
小庇 バルコニ	既存	ウレタン塗膜防水
	改修	高圧洗浄、下地処理の上、ウレタン系塗膜防水 (X-2工法) バルコニー部は防滑仕様
屋外階段	既存	階段: 鉄骨
	改修	下地調整RB種の上、DP3級*リレカ2回塗り
(好種) 種	既存	カラーVP75φ/ドレン鉄部
	改修	既存のまま/下地調整RB種の上、DP3級*リレカ2回塗り

A1 100%
A3 50%



R階平面図 1/150

凡例 (改修内容)		既存	改修内容
外壁 軒表	既存	アクリル系リシン吹付	
	改修	外壁劣化改修の上、複層塗材Eローラー塗り(軒裏等は、外装薄塗材E吹付け) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング (MS-2) 打替	
屋根 東側庇 PHR	既存	ウレタン塗膜防水	
	改修	高圧洗浄、クラック処理、下地調整 (目地埋め含む) の上、 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2工法)	
小庇	既存	ウレタン塗膜防水	
	改修	高圧洗浄、下地処理の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2工法)	
屋根 校舎棟 R階	既存	塩ビシート防水	
	改修	平場部 : シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2 (機械的固定方法) 立上り・溝部: 既存シート防水撤去後、下地調整 (ポリマーセメント) シート防水 塩化ビニル系 t=2.0mm S-F2 (接着工法) 脱気筒 (SUS) 端部 金物押え (7㉿ L45 x 60 x 1.5 シーリング 共) 7㉿、脱気筒、手すり控柱、PHR部 金物押え (7㉿ L10 x 30 x 1.5 シーリング 共)	
(ドレーン)	既存	縦型ドレーン	
	改修	改修ドレーン取付	
(好縫)	既存	カラーVP75φ	
	改修	既存のまま	



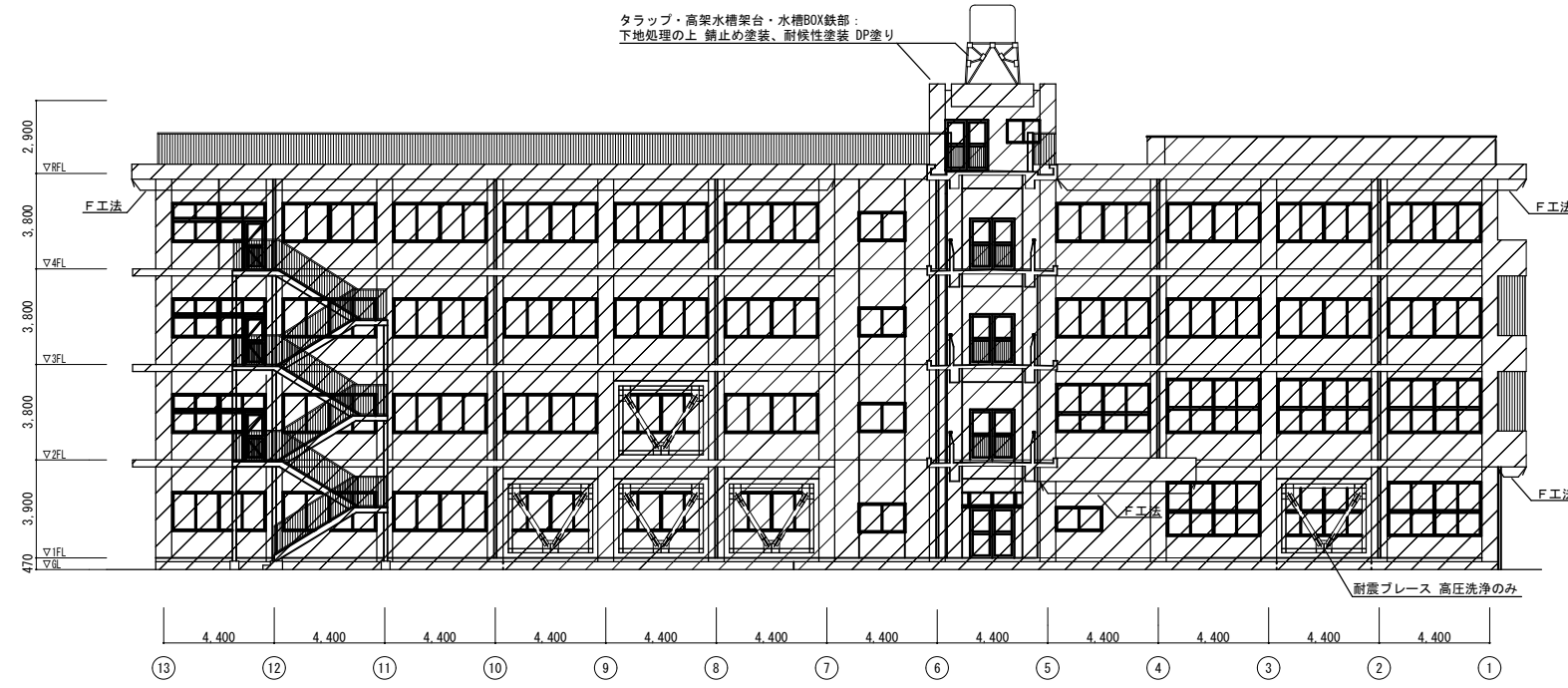
4階平面図 1/150

凡例 (改修内容)		既存	改修内容
外壁 軒表	既存	アクリル系リシン吹付	
	改修	外壁劣化改修の上、複層塗材Eローラー塗り(軒裏等は、外装薄塗材E吹付け) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング (MS-2) 打替	
小庇 バルコ	既存	ウレタン塗膜防水	
	改修	高圧洗浄、下地処理の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2工法) バルコニー部は防汚仕様	
屋外階段	既存	階段: 鉄骨	
	改修	下地調整R B種の上、DP3級*リフレク2回塗り	
(好縫)	既存	カラーVP75φ / ドレン鉄部	
	改修	既存のまま / 下地調整R B種の上、DP3級*リフレク2回塗り	

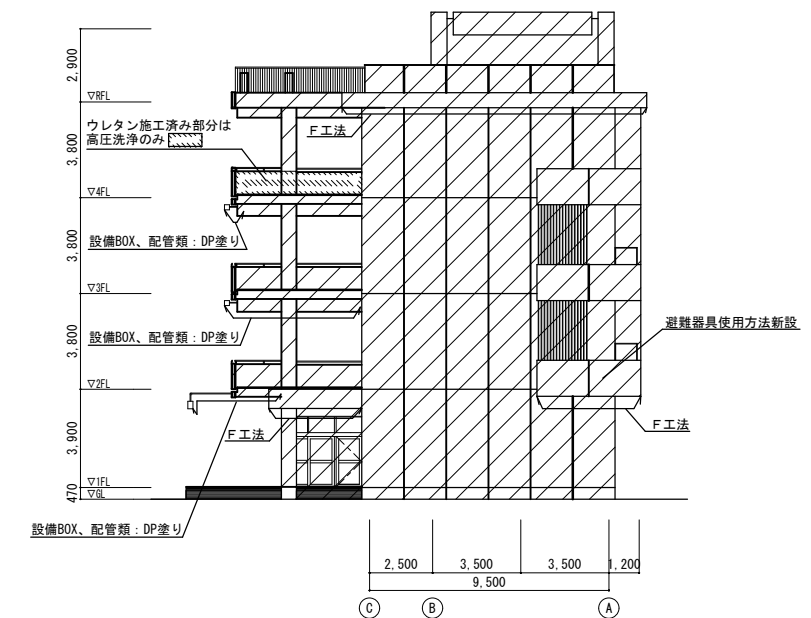
A1 100%
A3 50%

凡例 (改修内容)		
[斜線]	既存	アクリル系リシン吹付
	改修	外壁劣化改修の上、複層塗材Eローラー塗り(軒裏等は、外装薄塗材E吹付け) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング (MS-2) 打替
[格子]	既存	防水モルタル現し
	改修	高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2工法)
[斜線]	既存	階段・鉄骨
	改修	下地調整RB種の上、DP3級*リウウ2回塗り
[枠]	既存	カラーVP75φノドレン鉄部
	改修	既存のまま(高圧洗浄のみ) / 下地調整RB種の上、DP3級*リウウ2回塗り

共通事項
 ※複層塗材Eローラー塗り: 高圧洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 ※外装薄塗材E: 高圧洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 ※外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替
 ※外部配管・配線 DP塗装打替
 天井裏換気パイプ: 防虫網脱落部取付



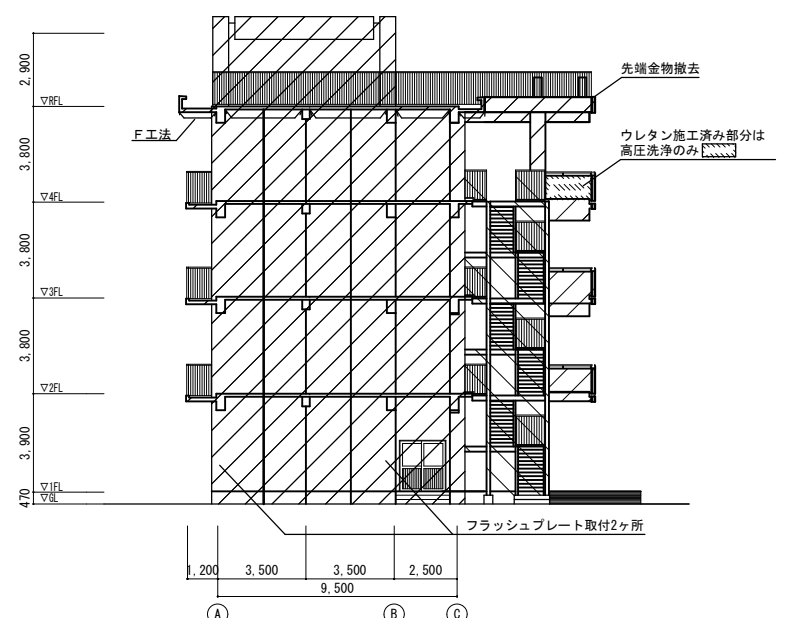
北立面図 1/150



西立面図 1/150



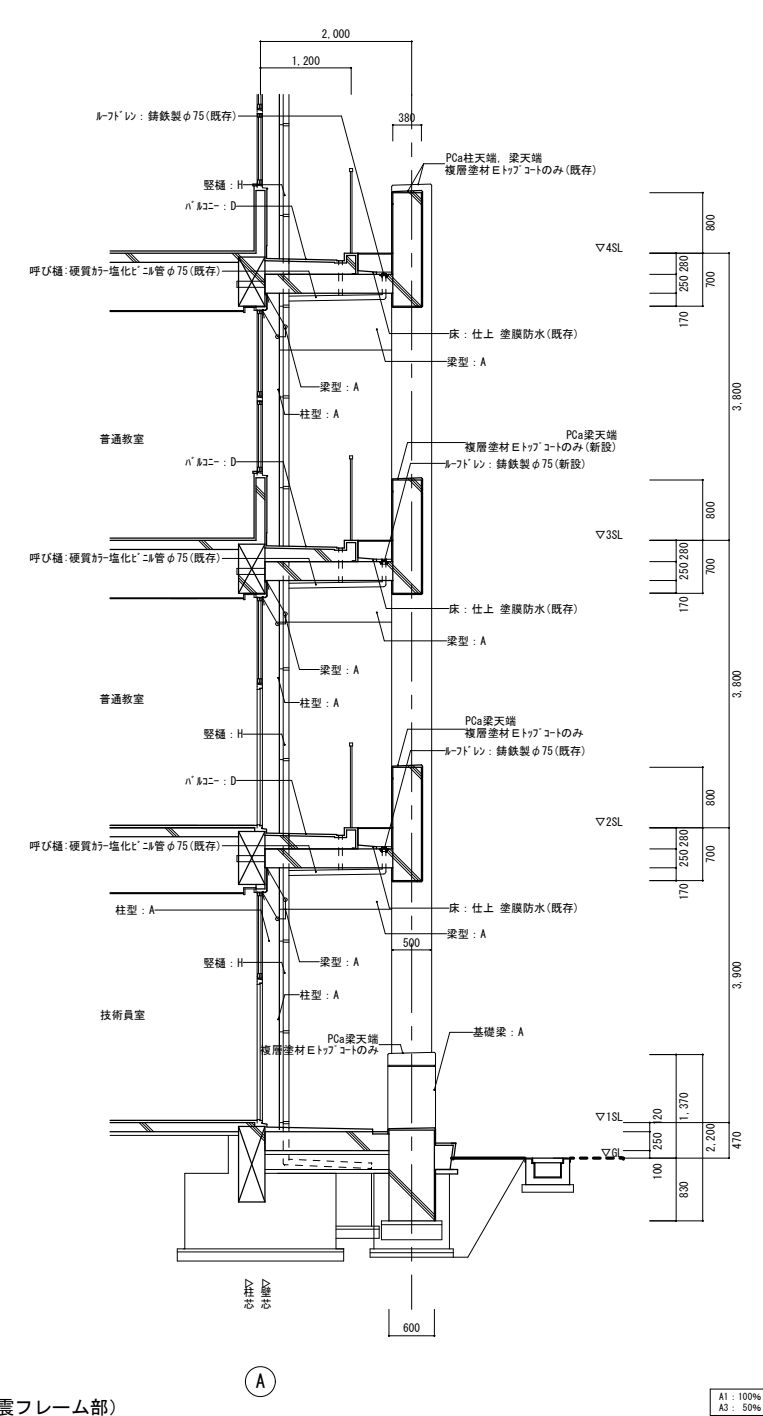
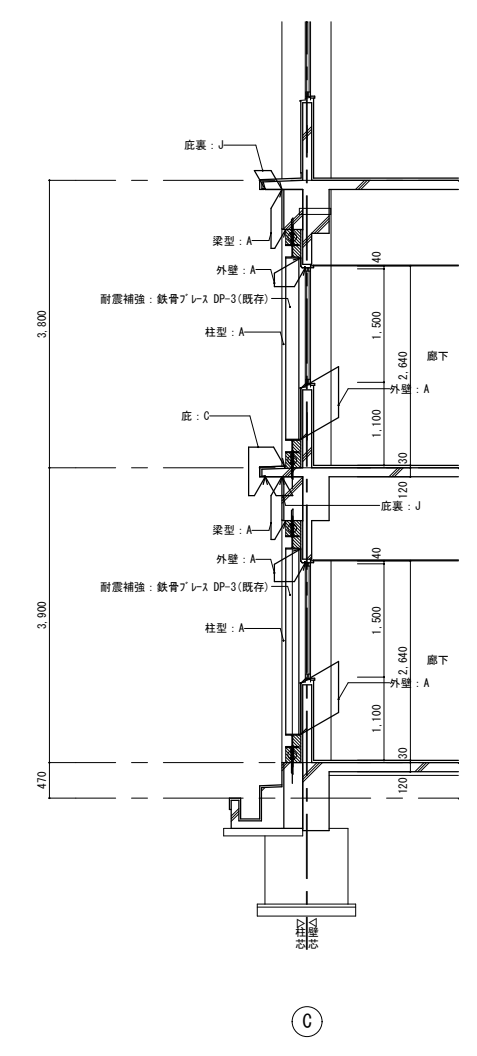
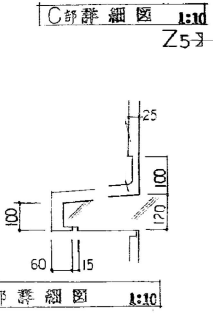
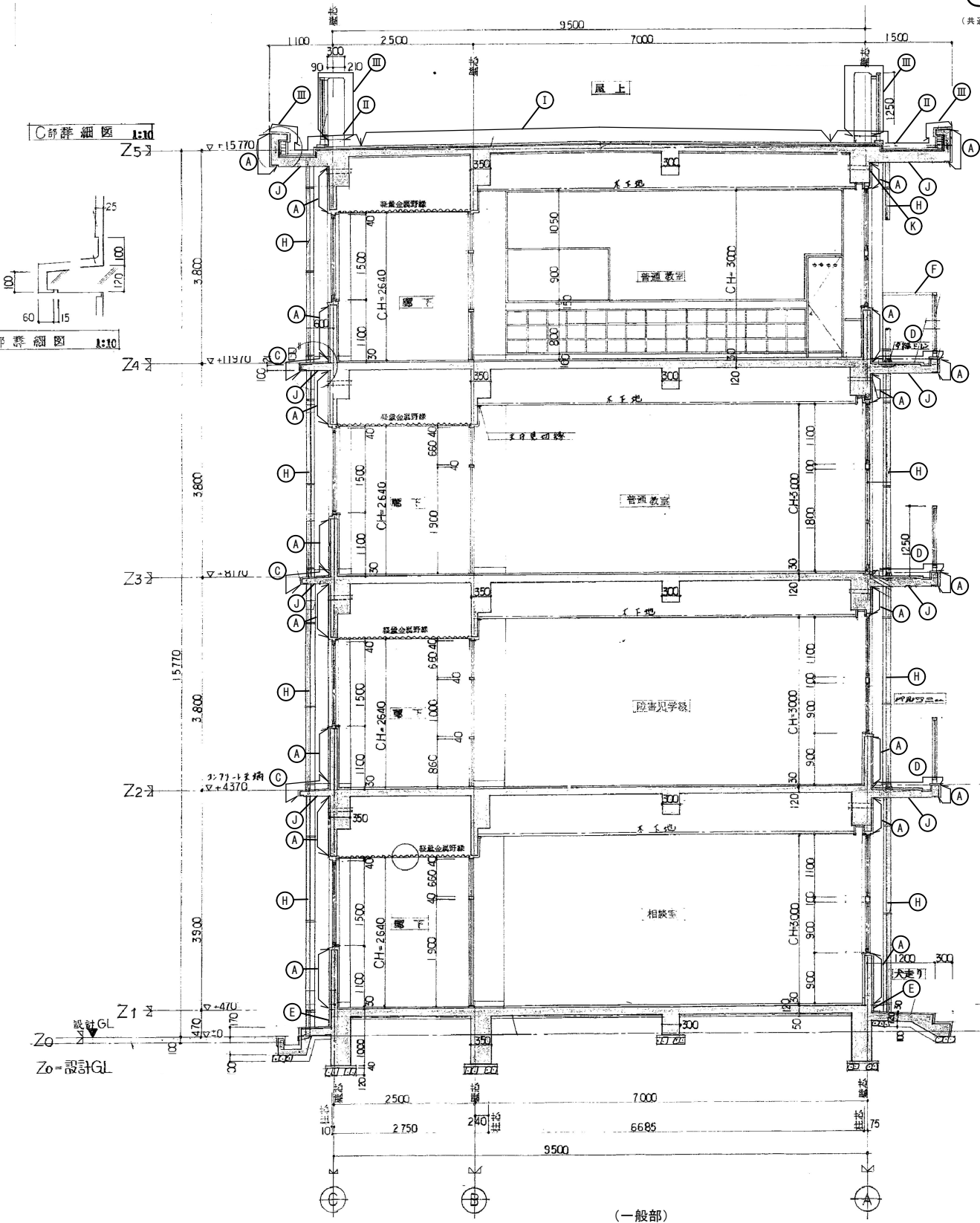
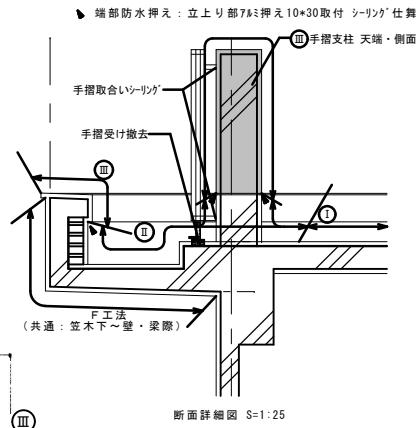
南立面図 1/150



東立面図 1/150

A1: 100%
A3: 50%

箇所	内容	箇所	内容
平場部 ①	既存：シート防水 改修：既存防水層高圧洗浄、自他シーリング打替の上、合成高分子 α -フィン β シート張り（塩化ビニル樹脂系 $t=1.5$ S-M2機械的固定工法）	バサルト 機械基礎 手摺支柱 ⑤	既存：ウレタン塗膜防水 平場部：高圧洗浄、下地処理、 η ウレタン防水X-2 立上部：高圧洗浄、下地処理、 η ウレタン防水X-2 シート防水との取り合いは、150程度重ねる。
立上部 清部 ②	既存：シート防水 改修：高圧洗浄、合成高分子 α -フィン β シート張り（塩化ビニル樹脂系 $t=2.0$ S-F2接着工法） 端部防水押え：屋根端部7 \times 7 \times 45 \times 65取付シーリング仕舞（特記なき場合） 端部防水押え：立上部部7 \times 7 \times 10 \times 30取付シーリング仕舞（特記なき場合）	備考	・モルタル欠損部は、モルタル成形補修とする。 ・モルタルひび割れ部は、シカトシーリング打ち ポリマーセメントモルタル埋め戻しとする。 ・伸縮目地劣化・不陸部は 撤去後、モルタル埋めもしくはシーリング処理とすること。 ・屋上アルミ手摺は一時取外し復旧を見込む。



符号	仕上	符号	仕上
①	既存 外壁：モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	⑥	既存 手すり控え：アルミ樹脂カバー
②	改修 高圧洗浄、劣化改修、下地処理の上 複層塗材Eローラー塗り	⑦	改修 樹脂カバーのみ撤去
③	既存 耐震鉄骨部：DP塗装	⑧	既存 アルミEXP-Jカバー
④	改修 下地処理の上	⑨	改修 清掃の上 端部シーリング
⑤	改修 耐震鉄骨部：DP塗装（トップ2回塗りのみ）	⑩	既存 壁種：VP75ノドレン鉄部
⑥	既存 ウレタン塗膜防水	⑪	改修 下地処理の上、D P 3級 β リフレ γ 2回塗り
⑦	改修 高圧洗浄、下地処理の上、塗膜防水（X-2工法）	⑫	既存 鋼製建具：SOP塗装
⑧	既存 ウレタン塗膜防水	⑬	改修 下地処理の上 耐候性塗装 DP塗り
⑨	改修 高圧洗浄、下地処理の上、塗膜防水（X-2工法）（防汚仕様）	⑭	既存 外装薄塗塗材E吹付
⑩	既存 巾木：モルタル金コテ押え	⑮	改修 高圧洗浄、劣化改修、下地処理の上 外装薄塗塗材E吹付
⑪	改修 既存のまま	⑯	既存 天井裏換気パイプ
⑫		⑰	改修 防虫網脱落部取付

参考数量書

§ 工事名称 福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市山手町一丁目5番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立山手小学校南棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市山手町一丁目5番1号

【工事概要】

外壁塗装改修工事 一式

屋上防水改修工事 一式

対象建物 南棟校舎
RC造 4階建
延べ面積 2,146.86㎡
西正門 門扉改修

南棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		360	m ²			
開口養生	割り増し	609	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		360	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,119	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,119	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 10m未満 150日	196	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 20m未満 150日	2,428	m ²			
くさび緊結式足場	150日 底部 プラット 掛払い手間,運搬費,維持管理費共	345	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 150日	172	m			
移動足場 (O-リング等)	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	1	台			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 150日	2,624	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間,運搬費,維持管理費共 150日	283	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	3	か所			
計						

南棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	防水改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	1,185	m ²			
外シ・清掃	防水面 外シ・清掃	1	式			
改修用ルーフドレン(ドム型)	75 縦型 材工共	1	式			
下地調整	下地処理・クラック処理	1	式			
ウレタンゴム系塗膜防水	X-2 平面	25.2	m ²			
ウレタンゴム系塗膜防水	X-2 平面 防滑仕上げ ハルコ-	201	m ²			
ウレタンゴム系塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	353	m ²			
端部金物撤去		1	式			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共 アスベストみなし含有	1	式			
外シ	立上部,溝部	214	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ボリマーセメントペースト	214	m ²			
合成高分子系ルーフイングシート防水(S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	214	m ²			
合成高分子系ルーフイングシート防水(S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	479	m ²			
防水押えアルミアングル(材工共)	L-45°60×1.5 ジョイント,ビス含む シーリング共	16.5	m			
防水押えアルミアングル(材工共)	L-10°30×1.5 ジョイント,ビス含む シーリング共	291	m			
SUS脱気筒	材工共	8	か所			
シーリング撤去	集積共	1,411	m			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	1,411	m			
計						

